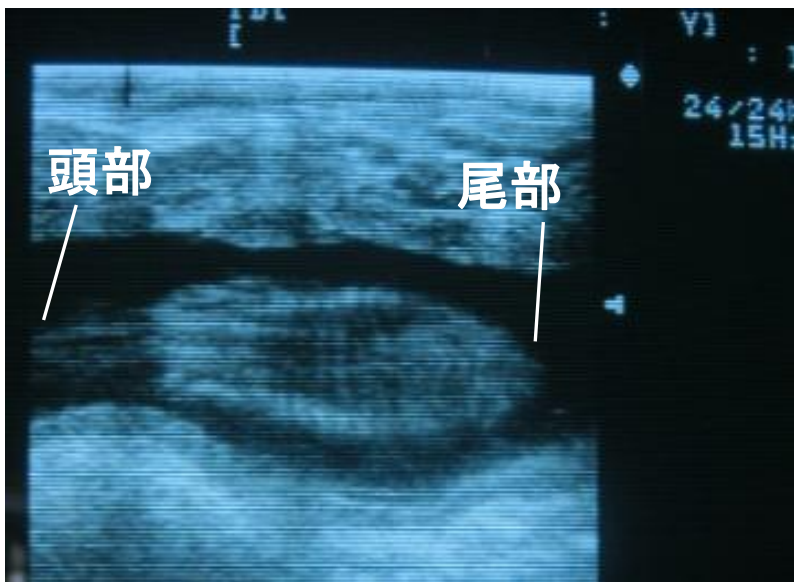


超音波画像診断による妊娠診断技術

- ・ 超音波画像診断装置を用いることで、牛の生殖器及び胎子に対して非侵襲的な観察が可能となります。
- ・ 探索子(プローブ)を用いて直腸を介して、卵巣、子宮及び胎子を観察します。

◆胎子雌雄判別技術

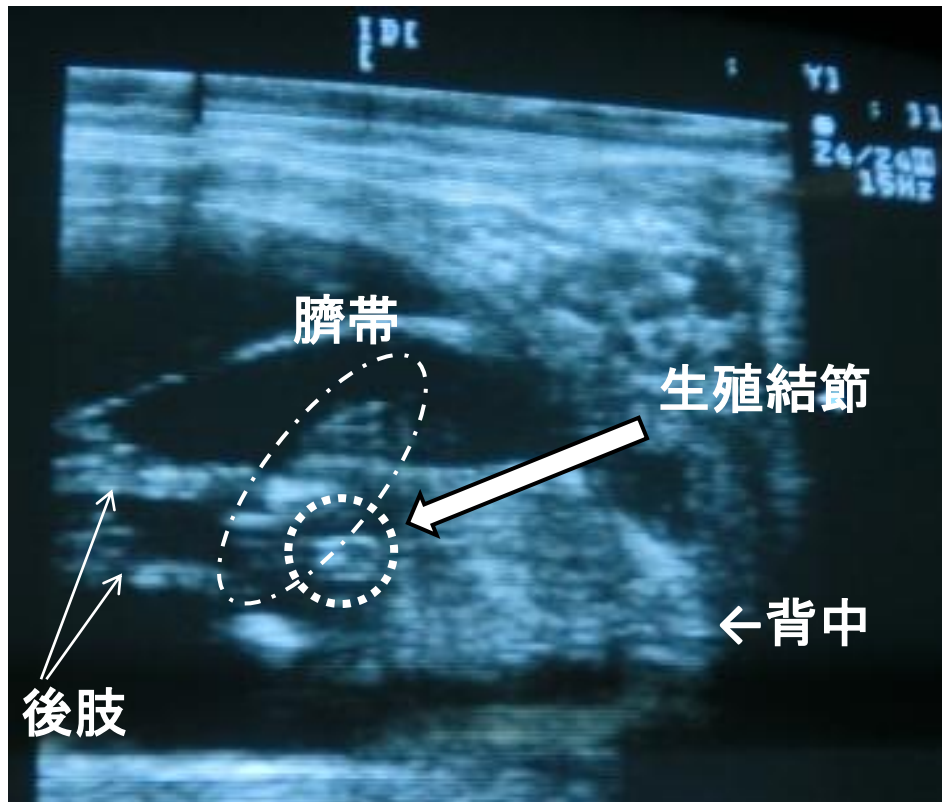
- ・ 胎齢55日目以降の子宮を観察することで、子宮内の胎子の生殖結節(生殖器になる器官)の位置を確認することで、胎子の性別を判定することができます。
- ・ 生まれる前に子牛の性別を早期に把握することで、効率的な繋養(後継牛の試算等)を計画したり、適正な分娩管理を実施することができます。



子宮内の胎子(75日齢)



超音波診断装置による妊娠診断



胎子の画像(後望)
生殖結節が臍帯の隣にあるので「雄」と判定